

# とよひら・りんく NewsLetter

発行 札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会 「とよひら・りんく」事務局

## 在宅医療についての学習会を開催

11月14日（月）18:30～20:00

西岡福住地区センターにて、札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会「とよひら・りんく」の第3回合同会議を開催しました。

地域の医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員等、多職種の方々、63名が出席しました。新たに2名の医師、歯科医師

のほか、本協議会の活動を参考にしたいと札幌市他区の医師や札幌市近郊の行政担当官らの出席もありました。

講演会、多職種での全体討論の他、グループワークを行いました。



## 在宅医療の充実が重要である

～全日本病院協会 西澤寛俊会長 講演会より～

### ◆アンケート◆（一部）

- 大変参考になったので、もう少し長く聞きたかった。
- 最新の情報で、とても参考になりました。
- 今後の医療の方向性について簡単に分かりやすく説明してもらい、参考になりました。

「今後の医療提供体制と在宅医療のあり方」というタイトルで、全日本病院協会 西澤寛俊会長の講演がありました。

我が国の現状と課題を踏まえた上で、在宅医療の充実が重要であるとの話があり、本事業への期待を述べられていました。

## 「相談依頼用紙」「連絡票」の活用について

～とよひら・りんく 事務局

### 相談依頼用紙

地域の医療・介護等の相談支援の対応のため「相談依頼用紙」を作成しました。以下は活用例です。

- 退院支援が必要な場合、医療ソーシャルワーカーが地域の診療所等に出向いての支援
- かかりつけ医のいない患者様に対する支援、医療ニーズが高い患者様への在宅及び福祉施設等での支援

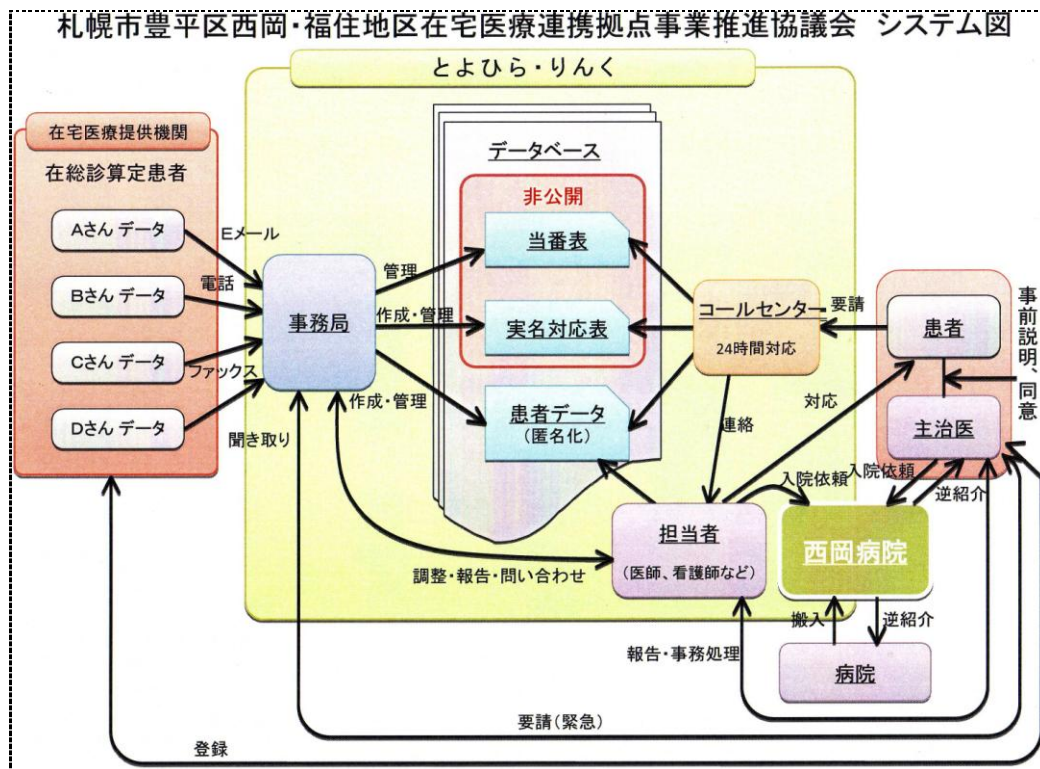
### 連絡票

医師・介護支援専門員間の情報交換や共有化のための「連絡票」を作成致しました。以下は活用例です。

- 主治医意見書への情報提供、介護サービスへの照会
- その他、ケアプラン作成上で、介護支援専門員が担当医師に確認を要すること

# システム構築が進み、運用へ ～24時間のネットワーク化を図る

五十嵐副会長から、チーム医療を提供するための情報共有体制のための連携システム（下図）の構築が進み、実際に患者様への説明、登録、そして運用へ展開していると報告がありました。



## グループワークより

グループワークで意見交換を行いました。  
ご意見の一部をご紹介します。

### 医師グループ

連携システムの運用に際し、下記の問題点があげられました（一部ご紹介致します）。

- 連携システムの医師の当番制、看取りの体制等、更に地域内で議論する必要があるのではないか。
- 登録患者が増えるとコールセンターでは対応できなくなる可能性があるのではないか。
- 看取りについて、最後は主治医（通常診察を行っている医師）に看取って欲しいといったご家族の感情をどのように考えるか。

### 在宅事業所関連グループ

在宅支援の課題について、下記の問題点があげられました（一部ご紹介致します）。

- （薬剤師）訪問服薬指導がマンパワー、在庫等の問題もあり、多く要望が寄せられるが、対応できていない。  
⇒**対応**介護支援専門員、訪問看護師の方からも、訪問服薬指導が必要な利用者が多いのではとの指摘があり、地区内の調剤薬局の打合せを調整し、その課題の解決策について、検討していくことになった。
- （介護支援専門員）医師・介護支援専門員間の連絡票につき、書式が簡素化され、医師の負担にならないのでは。

### 入所施設グループ

施設での対応について、下記の問題点があげられました（一部ご紹介致します）。

- （有料老人ホーム）看取りを今後考えていきたいが、どこに・どのように・どこまで要求して良いのか、前例もなく知りたい。⇒**対応**地区内の入所施設間で看取りについて意見交換を行う場を調整することになった。
- （有料老人ホーム）ソーシャルワーカーが医療機関内で役割を発揮して、退院調整をスムーズに行なって欲しい。

◎次回（第4回）合同会議は、2012年2月開催の予定です。日程が決まりましたら、ご案内致します。

とよひら・りんく事務局 西岡病院 地域連携室 岡村・川村

電話 011-853-8322(平日 9-17時) メールアドレス: [okamura@keiwakai.jp](mailto:okamura@keiwakai.jp)